

## 8月28日：不透明感がくすぶり上値は重い

世界経済の減速と貿易戦争問題は市場のセンチメントに重くのしかかり、水曜日はさえない相場となった。

ホーチミン市場のベンチマークである VN 指数は、977.26 ポイントと前日からほぼ変わらずで引けた。

火曜日は 976.79 ポイントで引けており、過去 2 日間で 1.58% の下落となっていた。

水曜日は高く始まったものの、引けにかけて売り圧力が強まり上げ幅を縮めた。

ハノイ取引所では、HNX 指数も似たような展開となり、0.52% 下落の 102.32 ポイントで引けた。

同指数は先週末の 103.25 ポイントから 0.38% の下落となっている。

両取引所合わせて、出来高は 1 億 6,820 万株、売買代金は 3.75 兆ドン（1 億 6,140 万ドル）となっている。

投資家は週初から 2 日続落していたことで慎重になっており、水曜日でもさえない展開となったとタインコン証券（TCSC）はデイリーレポートで述べている。

投資家は海外市場のボラティリティが高まっていることと、世界経済の見通しを懸念していることから、売買を手掛けにくいようだと同社は述べている。

当面の外部要因としては、終わりの見えないアメリカと中国の貿易戦争、日本と韓国の対立の高まりなどがあげられるだろう。

これらの懸念は、最近値を上げていた銘柄群への売り圧力とともに、市場を下押しする主要な要因であると同社は述べている。

両取引所の大型株と中型株の指数ともに下落し、大型株で構成する VN30 指数は 0.09%下落の 886.08 ポイントで引けた。

時価総額と流動性の高い同指数の 30 銘柄のうち、半数が下落したのに対し、上昇したのは 13 銘柄だった。

ホーチミン上場の大手 10 社のうちの 8 社は上昇した。しかしながら、市場はこれらブルーチップへの比率が大きく、流動性と資金流入の乏しさは短期的な見通しが良くないことを示していると、サイゴンハノイ証券 (SHS) は述べている。

現状からは、市場は低位株への買いを呼び込む水準まで下落し続けるかもしれないと同社は見ている。

外国人投資家は昨日、250 億ドン相当を買い越した。しかしながら、海外要因が重荷になっている中で、外国人の売買を重要視すべきではないと SHS は述べている。

中期的に 976 ポイントの水準は、引き続き市場のセンチメントを和らげるだろうと同社は見ている。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。